

## 消費税増税反対!の声を地域の すみずみから上げようではありませんか

**みなさん!**

野田内閣は、国民の6割以上が反対している消費税増税を強行しようとしています。

増税法草案を国会に出し審議入りさせました。2014年に8%、2015年には10%にしようというのです。

社会保障のためなら、国の財政がたいへん、と言うなら、暮らしたいへんだけれど増税も仕方がないのか……そう思われている方もいらつしやると思います。

**みなさん、**

消費税と、税金の集め方・使い方を考えてみませんか。

消費税が実施されてから23年になりました。「高齢化社会の福祉に備える、みなさん老後をご安心ください」といつて集めた消費税は251兆円ですが、社会保障は良くなったでしょうか。どなたに聞いても、消費税のおかげで老後が安心だなどと言う人は日本中一人もいません。それどころか、医療費の負担は増え、介護保険料や後期高齢者医療制度など、何もかも年金から天引きされ、負担ばかりが増えた、というのがみなさんの実感ではないでしょうか。それが証拠に、国民から集められた消費税は、9割以上の233兆円も法人税の引き下げに当てられたのです。国民の福祉に回ってきていません。

**みなさん、**

所得税は大資産家の所得が1億円を超えると税率が下がるといふ、摩訶不思議な日本の税制です。年間100億円以上というべらぼうな所得のある金持ちほど税金が少なくて済むなどということをご存知ですか。これでは国の税収が不足するのは当たり前です。

税金は、所得の低い人には低い率で、所得の多い人はそれなりに高い率で納めて社会に還元するという「応能負担」の原則が世界の常識です。

アメリカやヨーロッパの大金持ちが、「自分たちこそたくさん税金を納めるべきだ」と、「増税するなら富裕層から」と堂々と表明しています。

**みなさん、**

消費税はどんな困難に直面しても一切の減免のない苛酷な税です。生きていくことに容赦なくかかる税です。

消費税ほど不公平な税金は他にありません。弱者に厳しく、大金持ち・大企業ほど優遇されている税制です。

東日本大震災から1年余、復興が進んでいないなか、増税など受けられることができませぬ。増税は、1%の金持ちには響かなくても、私たち99%の国民の生活・営業にはとてもたいへんです。国民の日々のくらしにいまの2倍の10%になったらどうでしょう。

不安定な労働のなか、低賃金に喘ぎながらも一所懸命子育てをする若い世代、少ない年金で細ぼそ暮らす高齢者のみなさんを苦しめる消費税の引き上げは許されませぬ。

**みなさん、**

消費税を上げなくても、財源はあります。

260兆円ともいわれる大企業の溜め込み金を働く人々に還元すべきです。1兆円近い税金で、危険な戦闘機を今後数年かけて42機も買うなんてみなさん納得できますか。アメリカへの思いやり予算などやめるべきです。320億円もの政党助成金はなくすべきではないでしょうか。

税金の集め方を、国民生活を守る立場に切り替え、所得税や地方税、法人税などの金持ち優遇税制を消費税導入以前に戻すだけで、社会保障を賄う健全な財政ができるのです。

消費税をどんどん引き上げなどしたら、景気はいつそう悪くなり、国民生活は破壊され、ひいては子どもたちが育ちゆく未来を壊します。

**みなさん、**

消費税は国民生活や営業に悪い影響のある憲法違反の税金です。

今こそ、増税ノ1の声を上げ、国民生活を破壊する野田内閣の消費税増税計画をやめさせようではありませんか。